

# 右京うきよう 6/15

右京区シンボルマーク

注目記事!

- 右京国際文化観光大使養成プロジェクト参加者募集! (2面)
- 京都フローラ、京都サンガF.C. 試合に区民ご招待 (2面)

f 右京区役所 検索

## 災害には日頃の備え、心構えが大切です!



～雨や台風など自然の力が増す季節です～

災害が起こると電気、水道、ガスなどのライフラインや輸送手段が止まることが多いため、復旧まで水と食料最低3日分の備蓄が必要です。

### 1人1日分でこの量!

(水3リットル、主食、主菜、副菜、菓子など)  
3日分ではこの3倍の量が必要です。

備蓄の非常食は、定期的に消費し、食べた分だけ買い足して補充しておきましょう。賞味期限の短いレトルト食品もこの方法なら備蓄が可能です。



\*賞味期限が過ぎていないか定期的に確認しましょう。

問 地域力推進室 総務・防災担当 ☎861-1784

両手が空くようにリュックなどにまとめておきましょう

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ (小型軽量のもの)
- 救急医薬品・常備薬
- 貴重品 (免許証や健康保険証のコピー、ある程度の現金など)
- 衣類、タオル、ウェットティッシュ
- 乳幼児がいる家庭ではオムツ、哺乳瓶、粉ミルク
- その他 (軍手、缶切、ライターなど)



### 地震に備えて

避難所を確認して、避難経路に危険な場所がないか歩いてみましょう



河川のそば

\*他にも狭い道や大きな看板のある道は避けましょう。



ブロック塀

毎年秋頃、地域の自主防災会でも総合防災訓練を実施されていますので、ぜひご参加ください。



右京区在住の梶原さん親子

出発!

### 水災害時の避難の判断、行動は早めに



持出品は最小限に。動きやすい服装で。長靴ではなく、運動靴を履きましょう。



浸水が始まっていたら、状況に応じて建物の2階以上や近所の高い建物へ避難しましょう。



高齢者や体の不自由な方へ協力を。支援の必要な方に関しては、積極的に協力しましょう。

\*避難勧告等の判断・伝達方法など詳しくは挟み込みをご覧ください。

### 熊本地震への支援

市では、熊本地震に伴い「平成28年熊本地震京都市支援本部」を設置し、延べ500名近い職員の派遣(5月23日時点)や物資の提供、義援金の受け付けなどに取り組んでいます。右京区役所からも延べ7名(同日時点)が現地でも支援活動を行っています。



岡野地域防災課長補佐

発生12日後に避難所の運営補助をしてきました。熊本地震では住民の方は「台風」などの雨対策の「備え」や「心構え」はお持ちでしたが、「地震」については「まさか熊本で…」という住民の方の言葉が表すとおり、「地震」に対する関心は低かったように感じられました。いざというときに適切な行動がとれるよう、個人や地域においてあらゆる災害に対する「備え」と「心構え」を常にお持ちいただき、個人や地域の「防災力」を向上させましょう!